

《 気 体 》 ま と め

	酸素	二酸化炭素	水素	アンモニア	窒素	塩素	
色・ におい	色： におい：	色： におい：	色： におい：	色： におい：	色： におい：	色： におい：	
密度	空気より ()い。	空気より ()い。	空気より ()い。 ※物質の中で密度が 最も()い。	空気より ()い。	空気より ()い。		
その 他の 性質 ・ 特徴	・火のついた線香を 入れると、炎が ()くなる。 ↓ 他の物質を ()す はたらきがある。 (酸素自体は() ない。)	・() を()色に にごらせる。 ・水に溶かすと ()性。	・マッチの火を近づけ ると、ポンと音を立て て()る。 ↓ 自分自身(水素自 体)が()る。 ・空気中で() ると()ができる。	・水に溶かすと ()性。	・空気の約()% (約()分の()) (※体積比)が窒素 である。		
発生 方法 (作り方)	()に ()を 加える	()に ()を 加える	()に ()を 加える	()と ()を 混ぜ、加熱する			
水に…	溶け()	溶け() (少し())	溶け()	非常に 溶け()	溶け()		
集め 方	()置換	()置換 ()置換	()置換	()置換			

《 気 体 》 ま と め

	酸素	二酸化炭素	水素	アンモニア	窒素	塩素	
色・ におい	色: なし(無色) におい: なし(無臭)	色: なし(無色) におい: なし(無臭)	色: なし(無色) におい: なし(無臭)	色: なし(無色) におい: 刺激臭	色: なし(無色) におい: なし(無臭)	色: 黄緑色 におい: 刺激臭	
密度	空気より (大き)い。	空気より (大き)い。	空気より (小 さ)い。 ※物質の中で密度が 最も(小 さ)い。	空気より (小 さ)い。	空気より ((わずかに)小 さ)い。		
その 他の 性質 ・ 特徴	・火のついた線香を 入れると、炎が (大き)くなる。 ↓ 他の物質を (燃 や)す はたらきがある。 (酸素自体は(燃え) ない。)	・(石 灰 水) を(白)色に にごらせる。 ・水に溶かすと (酸)性。	・マッチの火を近づけ ると、ポンと音を立て て(燃 え)る。 ↓ 自分自身(水素自 体)が(燃 え)る。 ・空気中で(燃 え) ると(水)ができる。	・水に溶かすと (アルカリ)性。	・空気の約(80)% (約(5)分の(4)) (※体積比)が窒素 である。	※塩素について は、教科書に載っ ていればそれを見 てまとめてみて ね！	※ここは予備の 欄です。他の気体 の特徴など教科書 に載っていればメモ しておいて くださいφ(^o^)
発生 方法 (作り 方)	(二酸化マンガン)に (オキソドール)を 加える	(石灰石(貝がら))に (うすい塩酸)を 加える	(鉄や亜鉛など(金属))に (うすい塩酸(硫酸))を 加える	(塩化アンモニウム)と (水酸化カルシウム)を 混ぜ、加熱する	←「オキソドール」は 「うすい過酸化水素水」 でもOK。	◇どの欄のどの語も 教科書の言い方に合 わせて覚えてね！！	
水に…	溶け(にくい)	溶け(にくい) (少し(しか)溶けない)	溶け(にくい)	非常に(よく溶ける) 溶け(やすい)	溶け(にくい)		
集め 方	(水 上)置換	(水 上)置換 (下 方)置換	(水 上)置換	(上 方)置換	← もしかして、「 <u>OO</u> いかも…その場合は	<u>置換</u> 」という言い方は 載っている言い方で	教科書に載っていない 覚えてね。

↑気体の集め方はそれぞれ理由があるので、「なぜそうやって ◇◇ ふたばプリント ◇◇ 集めるのか」をしっかりチェックしておきましょう(^o^)φ♪

《 気 体 》 ま と め

	酸素	二酸化炭素	水素	アンモニア	窒素	塩素	
色・ におい	色： におい：	色： におい：	色： におい：	色： におい：	色： におい：	色： におい：	
密度							
その他の性質・特徴							
発生方法 (作り方)							
水に…							
集め方							

《 気 体 》 ま と め

	()	()	()	()	()	()	
色・ におい	色：なし におい：なし	色：なし におい：刺激臭	色：なし におい：なし	色：なし におい：なし	色：なし におい：なし	色：黄緑色 におい：刺激臭	
密度	空気より 小さい。 ※物質の中で密度が 最も小さい。	空気より 小さい。	空気より 大きい。	空気より わずかに小さい。	空気より 大きい。		
その 他の 性質 ・ 特徴	・マッチの火を近づけ ると、ポンと音を立て て燃える。 ↓ 自分自身(() 自体)が燃える。 ・空気中で燃えると 水ができる。	・水に溶かすと アルカリ性。	・石灰水を白色に にごらせる。 ・水に溶かすと 酸性。	・空気の約 80% (約 5 分の 4) (※体積比)が ()である。	・火のついた線香を 入れると、炎が 大きくなる。 ↓ 他の物質を 燃やす はたらきがある。 (() 自体は燃え ない。)		
発生 方法 (作り 方)	鉄や亜鉛などの金属に うすい塩酸(硫酸)を 加える	塩化アンモニウムと 水酸化カルシウムを 混ぜ、加熱する	石灰石(貝がら)に うすい塩酸を 加える		二酸化マンガンを オキシドールを 加える		
水に…	溶けにくい	非常に 溶けやすい	溶けにくい (少ししか溶けない)	溶けにくい	溶けにくい		
集め 方	水上置換	上方置換	水上置換 下方置換		水上置換		

《 気 体 》 ま と め

	()	()	()	()	()	()	
色・ におい	色：なし におい：なし	色：なし におい：刺激臭	色：黄緑色 におい：刺激臭	色：なし におい：なし	色：なし におい：なし	色：なし におい：なし	
密度	空気より 大きい。	空気より 小さい。		空気より わずかに小さい。	空気より 大きい。	空気より 小さい。 ※物質の中で密度が 最も小さい。	
その 他の 性質 ・ 特徴	・石灰水を白色に にごらせる。 ・水に溶かすと 酸性。	・水に溶かすと アルカリ性。		・空気の約 80% (約 5 分の 4) (※体積比)が ()である。	・火のついた線香を 入れると、炎が 大きくなる。 ↓ 他の物質を 燃やす はたらきがある。 (() 自体は燃え ない。)	・マッチの火を近づけ ると、ポンと音を立て て燃える。 ↓ 自分自身(() 自体)が燃える。 ・空気中で燃えると 水ができる。	
発生 方法 (作り 方)	石灰石(貝がら)に うすい塩酸を 加える	塩化アンモニウムと 水酸化カルシウムを 混ぜ、加熱する			二酸化マンガンを オキシドールを 加える	鉄や亜鉛などの金属に うすい塩酸(硫酸)を 加える	
水に…	溶けにくい (少ししか溶けない)	非常に 溶けやすい		溶けにくい	溶けにくい	溶けにくい	
集め 方	水上置換 下方置換	上方置換			水上置換	水上置換	